

白井博士<sup>訂正
増補</sup>日本菌類目錄

著者は曾て第一版を公にせしより既に十年を細菌類學上の智識著しく増進し既知の種は三千五百を算するに至れり、本書は毎種に學名、和名、産所、寄主等を記す外に海外に於ける分布の主要なるもの及び重要なる參考書の名及頁數を掲げたれば専門家は以て參考とするに極めて必要なるものなり且つ著者は本邦に於ける斯學の泰斗にして多年此方面の研究に従事せる三宅農學士の手によりて更に補校せられしものなれば其學名の正確なる更に論ずるの要なきなり又使用者の新に發表せられたる學名を記入する便宜の爲め隔頁に印刷し白紙を存せられたるは用意の周到なるを謝するの外なきなり

W. Ganong-A Text book of Botany for Colleges

本書は米國に於ける高等普通教育に於ける植物學の教科書として編纂せられしものにして氏は元來 College の教授として多年種々なる植物生理學上の器械などを工夫し居られし人なれば本書も顯花植物の形態を説くと同時に生理學及組織學上の智識を與ふる様にして葉、莖、根の順序に論述し順次に花の形態及生理に及び性の問題或は遺傳などにも簡短に觸れ果實及種子を以て結び其間に生態に關する方面或は病理又は經濟的方面にも多少亘りて述べられたり三百九十頁の小冊子故素より詳細なる事は得て望むべからざるも小さき纏りたる教科書參考書としては佳なるものなり唯隱花植物に就て餘りに關係せざるは

叙述の上より止むを得ぬ事ながら缺點の一とも云はるべきか(保井)

物 理

交番電流とヴェクトル應用 寶來勇四郎
實用電氣測定器具 福田 豊

理 科 部 報 告

1. 會員數

會 員(在校生)	19人
贊助員(卒業生)	320人
客 員	9人

2. 會の仕事

講演	3回
雜誌發行數	3回

3. 會費

收支計算

入ノ部	511.30円
前年度繰越高	290.60円
會費(卒業生)	172.20円
内譯 會報實費(在校生)	34.74円
利子	13.46円
寄附	0.30円
出ノ部	224.39円
會報印刷費	181.16円

内譯	同發送費	25.06 ^円
	振替貯金料金	1.25 ^円
	雜費	19.92 ^円
次年度 = 繰越高		283.91 ^円
所在	郵便貯金	257.23 ^円
	振替貯金	6.28 ^円
	同基本金	10.00 ^円
	現金	10.40 ^円

會費領收報告 (自大正六年十月十日
至大正七年三月廿日)

金 六 拾 錢 (大正七年分)

松宮シヲ 光 雪 枝 安井トク

金 六 十 錢 (大正五年分)

神尾みきえ

金 壹 圓 貳 拾 錢 (大正六・七年分)

坂内みつ 辻村みちよ

金 壹 圓 貳 拾 錢 (大正七・八年分)

安藤さつ

金 壹 圓 貳 拾 錢 (大正五・六年分)

遠藤きみ

金 壹 圓 八 拾 錢 (大正八・九・十年)

永岡よし

金 壹 圓 八 拾 錢 (大正五・六・七年分)

神林甫

金 壹 圓 (八年分殘金四拾錢)

澁谷ハル

金 貳 圓 (大正五・六・七年殘金貳拾錢)

加藤志摩

金 貳 圓 (二回)

尾形たけ

暑中休暇中振替にて御發送相成候分の内數部會計係不在なりし爲通知票手元に達せず自然領收報告を致し兼ね候間此段惡しからず願上候尙申上兼候へ共七月以後九月末日迄に御發送分にして前號及本號に御姓名掲載洩の方は至急金額及御姓名等御報告下され度願上候。

會 計 係

御送金に關する會計係の希望

1. 御送金はなるべく暑中休暇冬期休暇の如き長期の休暇中を御さげ下されたく候兎角通知票會計係の手許迄達せざる爲めに種々の手数を要し候事度々これあり候
2. 振替にて御送金の節は必ず東京五九〇七に御拂込相成度候櫻蔭會の會費等と共に御拂込の方も稀にこれあり候へ共双方にて甚だ迷惑に御座候
3. 會費は過不足なく御拂込相成度候御參考迄に會費は左の如くに御座候

一ヶ年分 明治四十五年迄は八拾錢

大正二年後は六拾錢

4. 毎年三月發行の會報には振替貯金拂込用紙に金高を記入して封入致置候間其節御送金下され候方最便利に御座候